

特別活動

ホームルーム活動	よりよいホームルームをつくるために		実施時期	通年
1	目標	ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身につける。 ホームルームや学校の生活の向上・充実のための課題を見だし、解決について話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践する。 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と協働しながら日常生活の向上・充実を図る。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだしている。課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	

生徒会行事	対面式		実施時期	4月上旬
1	目標	校歌・応援歌の披露や部活動紹介を見ることで、帯広三条高校の良き校風と伝統を新入生として理解する。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	校歌・応援歌の披露や部活動紹介を見ることで、帯広三条高校の良き校風と伝統を新入生として理解している。	部活動紹介を見る中で、集団（部活動）に所属する姿や自己の生活の充実・向上について考えている。	対面式に参加する中で、これからの学校生活、人間関係をよりよく構築しようとしている。	

生徒会行事	三柏戦		実施時期	4月下旬
1	目標	姉妹校としての伝統を通じ、両校生徒が競い合っていく中で親睦を深める。互いの長所を吸収しあい、両校の向上に役立てる。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	本校や姉妹校である柏葉高校の伝統や長所について理解し、両校の親睦を深めるという意義を理解している。	両校の活動を充実・向上させるために、仲間と協力したり、自他の個性を認め、高め合ったりしている。	両校で競い合っていく中で親睦を深めようとしている。互いの長所を吸収しあい、両校の向上に役立てようとしている。	

生徒会行事	生徒総会		実施時期	前期5月・後期10月
1	目標	執行部・各委員会など生徒会活動の内容を理解し、生徒一人一人が生徒会の一員であることを意識する。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	学校生活の充実と向上のために、目標を設定し、主体的に組織づくりや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解している。	生徒総会や各種委員会において、学校生活の充実と向上のための課題や生徒の提案を生かした活動の計画について考えている。	集団の形成者として、多様な他者と協働し、積極的に学校生活の充実と向上を図ろうとしている。	

生徒会行事	壮行会		実施時期	5月～11月
1	目標			
各部活動を三条高校一丸となって応援し、生徒の一体感を高める。				
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	大きな大会をむかえる選手・部局員を三条高校一丸となって激励し勢いづけることの意義を理解している。	同校の仲間として意識し、その活躍を願い、各部活動を仲間と協力して積極的に応援している。	各部活動を三条高校一丸となって応援し、生徒の一体感を高めようとしている。	

生徒会行事	学校祭(三条祭)		実施時期	7月上旬(準備6月下旬～)
1	目標			
学校全体が団結し、同級生だけでなく他年次・教職員・地域住民等多くの人との関わりの中で様々な考えを知り、人への思いやりや感謝の気持ちを学ぶ。全員が協力して学校祭を成功させ、一人一人が達成感を得られるものとする。				
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	学校祭の意義や学校祭を成功させるために諸問題を話し合って解決すること、他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。	様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重して認め合い、支え合ったり、互いに高め合いながら協力して実践している。	様々な集団の中で、他者の価値観や個性を受け入れ、互いのよさや可能性を発揮できる関係を築こうとしている。	

ホームルーム活動	進路研究①～④		実施時期	9月～3月
1	目標	①②進路相談会に向けての事前指導。進路について基本的な知識を持つ。興味ある進路先を調べ、相談の際のポイントを考える。 ③科目選択に向け、進路の幅を広げ、面談を通して決定する。 ④2年次に向けて、やるべきことを整理する。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい進路選択をするための知識・技能	よりよい進路選択をするための思考・判断・表現	主体的に将来について考えようとする態度	
評価規準	自らの進路について考えるために、情報を収集したり整理し、他者の意見を聞いて選択の幅を広げることができる。	進路選択と実現に向け、自らの課題を多角的に見いだしている。課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かして進路を考えている。	自らの将来のために、何が必要かを考えたり、他者と積極的に意見交換を図ろうとしている。	

生徒会行事	校内球技大会		実施時期	9月下旬
1	目標	団体球技を通してクラス内の交流を深め、クラスの団結を図る。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
評価規準	校内球技大会の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。	運動することのよさについて考え、他者と協力して、適切に判断し行動している。また、集団で協力している。	運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組むとともに、クラス内の交流を深め、クラスの団結を図ろうとしている。	

ホームルーム活動	進路講話		実施時期	3月
1	目標	3年次の進路決定者や卒業生の話を通して、今後の学校生活の過ごし方を考える。 進路決定のポイントや具体的な学習方法、進路活動の計画について学ぶ。		
2	観点別評価規準			
評価の観点	よりよい進路選択をするための知識・技能	よりよい進路選択のための思考・判断・表現	主体的に将来について考えようとする態度	
評価規準	他者の経験を聞き、自らの進路選択に必要な知識・技能を習得する方法を身に付けている。	他者の経験談を通して、自らの適性や課題を多角的に見いだしている。課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かし実践している。	自らの将来について具体的に考え、学習や日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	